

富士之堡華園ホテル 庭園マップ

黒松・「龍松」

松と言えば黒松と言われるほど、代表的な樹種で、黒松の豪快さに敵う樹種はありません。能、狂言の舞台には背景として必ず描かれており、歌舞伎でも多く使われ、日本の文化を象徴する樹木であり、若さ・不老長寿の象徴とされ、竹、梅と合わせて「松竹梅」としておめでたい樹とされています。



エントランス

B1エントランスには、由緒ある貴重な品々がお客様の目を惹かせてくれます。



有田焼【神楽門前】有田焼には400年もの伝統があり、日本総産の発祥です。人から人へ脈々と受け継がれ長い歴史の中で、丈夫で欠けにくく、透き通るような美しい白と色彩の豊かさといった有田焼独自の魅力が培われてきました。



箱「筑前」日本に防具が誕生したのは古墳時代までさかのぼります。アジア大陸の騎馬民族から伝わり、この頃は鎧ではなく挂甲（けいこう）といわれ、平安時代になって日本独自の「大鎧」というものが誕生しました。現在では5月5日「端午の節句」に男の子の成長を祝い健康を祈って飾られます。



陶器画「木下勝功作」陶器版に金蘭寺を豪華に再現された大変貴重なものです。作者の木下勝功はダイアナ妃献上の掛掛けを製作された方でも有名です。

滝

滝の前では記念撮影をしたり、朝は鯉にエサをあげたり。



石塔・灯籠

石塔・灯籠は、仏教の諸仏に対する供養として、主に寺院に捧げられていたものであり、茶庭に取り入れられるようになった後、庭園の風景物として用いられるようになりました。

十三重塔

五重塔



富士山

目の前に迫ってくるような富士の壮さは圧巻！
静岡県、山梨県にまたがる標高3776mの日本最高峰。富士山としても高く、日本三名山（三霊山）のひとつであり、日本百名山の1つ。江戸時代後期の1800年（寛政12）で富士山は女人禁制でした。



富士の麓、1万坪の庭園に悠然と建つレンガ色の当ホテル



富士山スポット①



富士山スポット②

庭園の住人達

かわいい住人達に癒されるのもホテルの醍醐味のひとつ。エサをあげて仲良くしよう。



シマリス

やまがら

錦鯉

庭園を彩る花々

手入れの行き届いた1万坪の庭園。ま？と思いきや、庭園をうめつくしているのは、なんと苔！何年もの時間をかけて織り成す自然の不思議。



朴の木
「ほお」は「ほう」の意味で、大きな葉に食べ物を盛ったことから命名。

いろはもみじ
葉の裂片を数える、「イロハニホヘト」と数えたことから命名。



イヌツゲ
印鑑や箸の素材となるツゲに似ているが役に立たないことから命名。

富士桜
別名「豆桜」。花弁は5枚で花期は3月中旬。富士山を中心に自生している。